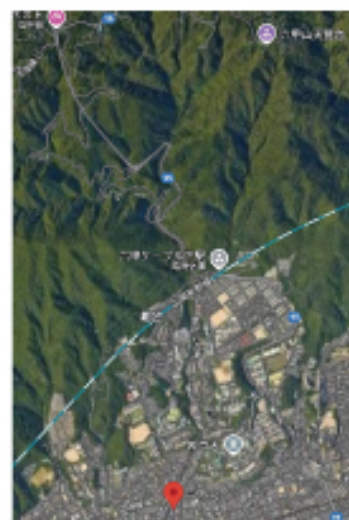


神戸六甲ミーツ・アート 2025 beyond 公募作品プラン応募用紙

応募者名 ふりがな: みやざき ひろやす 宮崎宏康 ※グループの場合は代表者名を記載	グループ名 ふりがな: しょういんちゅうがっこうこうとうがっこうびじゅつぶ 松蔭中学校・高等学校 美術部 ※グループの場合のみ
作品の名称(仮題で可) 愛とヴィー~只今参上~	

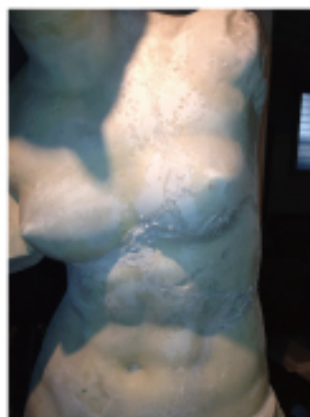
「六甲のヴィーナス」2025年3月、六甲山の麓、杉谷道の六甲川沿いに店を構えるアンティークブティック「PUPPE」が、50年にわたるその歴史に幕を降ろした。



↑港町神戸にていち早く西欧文化を取り入れていた「PUPPE」店内は、アール・ヌーヴォー、アール・デコのアンティーク雑貨、食器、ファッション洋品で溢れていた。

長きにわたって「PUPPE」の歴史を見守ってきたのは「ミロのヴィーナス像」。1964年の東京オリンピックの際、エリザベス女王とともに飛行機で来日した。

このヴィーナス像は、ルーブル美術館にて直接型取りされた5体のうちの一体だという。(店主談)



1995年の阪神・淡路大震災で転倒、修復した痕跡がある。今般の搬出の際、自重に耐え切れずに背中が大きく割れた。

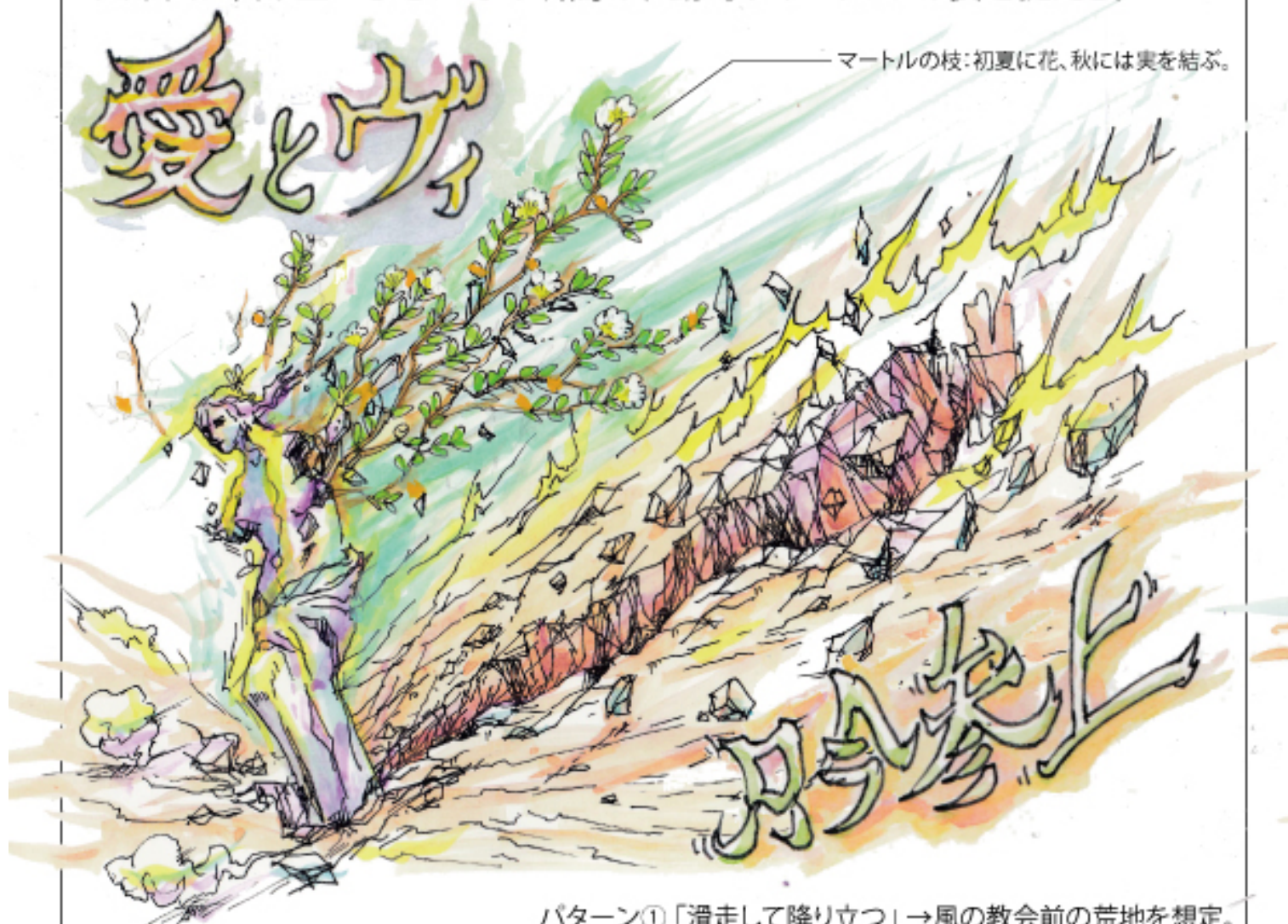


来日から60年、この六甲のヴィーナス像は縁あって松蔭中学校・高等学校に寄贈された。松蔭美術部は、この像を修復する計画の途中、完全修復しないことに可能性を見出した。

60年前、神戸の地に「愛」と「美」を運ぶべく海を越えてやってきたヴィーナス。幾多の試練を越え傷ついた背中の大きな亀裂に、想像力の種を潜入させ、六甲山に降り立つまさにその瞬間の、「動的ヴィーナス」の姿を捉える。

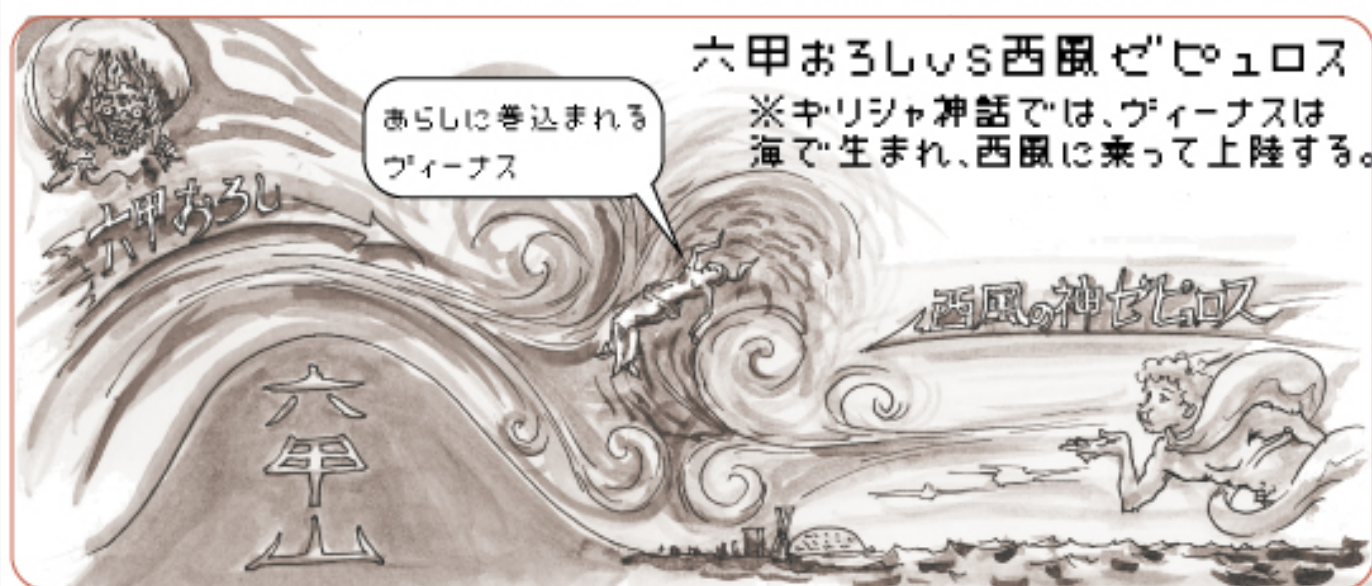
愛とヴィ

マートルの枝：初夏に花、秋には実を結ぶ。



パターン①「滑走して降り立つ」→風の教会前の荒地を想定。

ヴィーナスの腰の捻りは、嵐を抜けて地上に不時着した瞬間の姿勢であるという新説！



六甲おろし vs 西風ゼピュロス

※ギリシャ神話では、ヴィーナスは海で生まれ、西風に乗って上陸する。

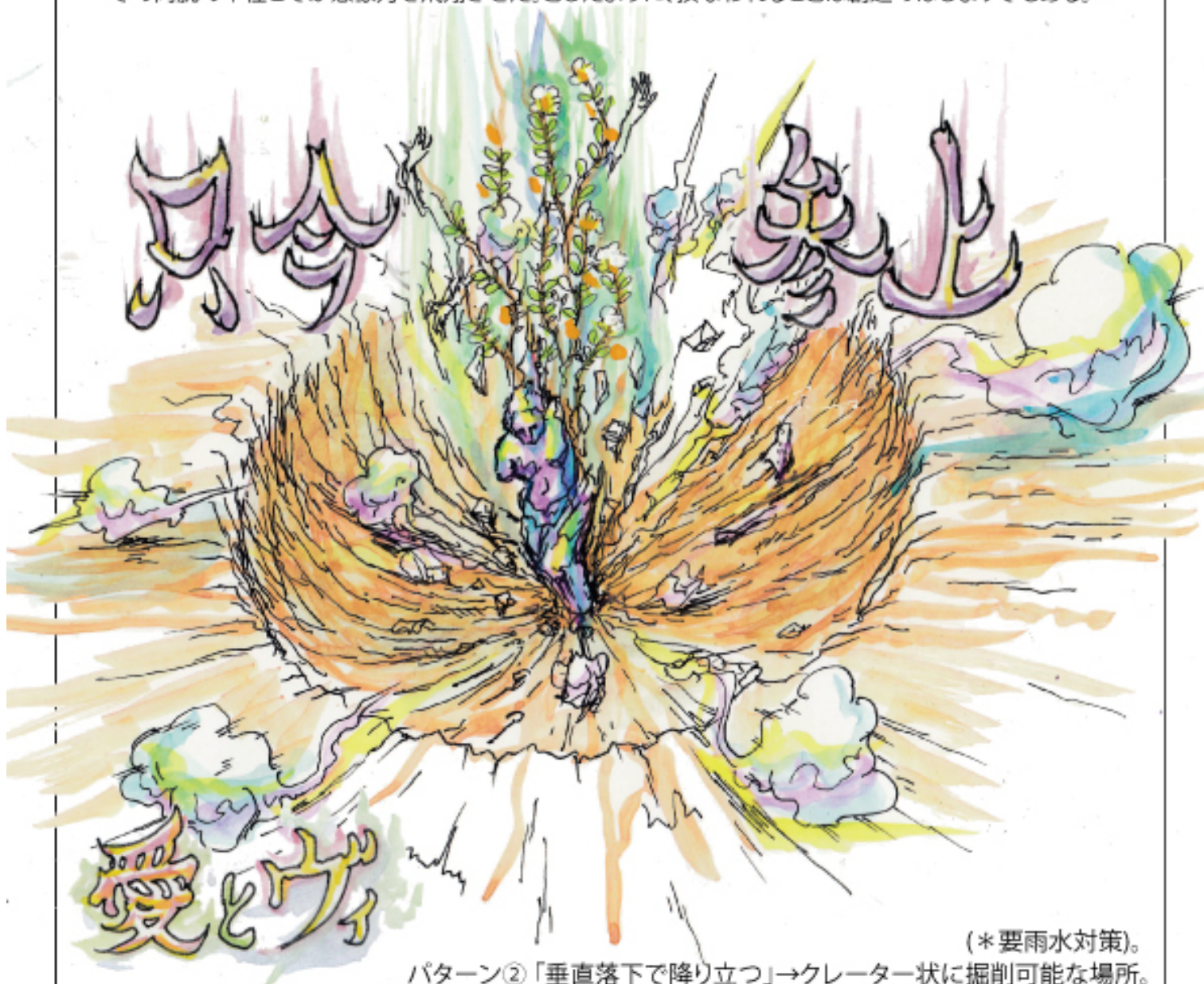
あらしに巻込まれる
ヴィーナス

西風の神ゼピュロス

六甲山

地上に「愛」と「美(ヴィ)」をもたらすべく、ゼピュロスの西風によって海を越えてきたヴィーナス。襲い来る逆風「六甲おろし」、震災での転倒、試練を乗り越えて、無事降り立つことができるのか。

☞ 背中 of 亀裂から生えている植物は、【マートル(銀盃花)】ギンバイカ
 国語の教科書でおなじみ、評論文『手の変幻』の中で、詩人・清岡卓行が、「ミロのヴィーナス」は、
 その両腕の不在こそが想像力を飛翔させた。としたように、損なわれることは創造のはじまりでもある。



(※要雨水対策)。

パターン②「垂直落下で降り立つ」→クレーター状に掘削可能な場所。

ヴィーナス像をとりまく環境全体を造形する”ランドスケープ彫刻”。

ヴィーナス像の背中入った大きな亀裂から、美しいマートルの枝が生え、立ち込める
 芳香が六甲山に「愛」と「美」がもたらされたことを示す。
 破壊の痕から木が育つ様子はレジリエンスの象徴となる。

☞【マートル】Myrtus フトモモ科

ギリシャ神話においてヴィーナスに捧げられる花。
 葉はユーカリに似た強い芳香を放ち、香水の原料。
 愛、純潔の象徴として、花嫁のブーケに使われる。
 花言葉:「愛」「高貴な美しさ」



※実際に、像に香水を染み込ませ、周囲に香りを放つ仕掛け。